

小豆島町

議会だより

No.14

平成21年11月1日 発行



最高のピラミッド完成（星城小学校運動会）

● 審議議案	
補正予算など	2
● 一般質問	
14名の議員が質問	3
● 住民の声・町の力	10

平成20年度決算 決算特別委員会で審議へ

平成21年第3回定例会が9月15・16日の両日に開催され、平成20年度決算の認定議案、平成21年度一般会計と3特別会計の補正予算議案、工事請負・変更契約議案が3件、国民健康保険条例の一部改正の9議案が提案され、決算認定議案は閉会中に特別委員会で審議されることとなり、その他の議案は原案どおり可決しました。

また、平成20年度決算における健全化判断比率など6件の報告がされました。

審議した主な議案

第3回定例会（9月）

補正予算

復旧費などによるものです。
主なものは、次のとおりです。

一般会計（第3号）

追加補正予算額は5千390万3千円で、補正後の予算総額は78億9千362万2千円となります。

今回の補正は、平成21年度に限って延長された子育て応援特別手当や緊急雇用対策、台風9号による災害

○民生費関係

子育て応援特別手当事業費 1千391万円

○労働費関係

緊急雇用対策費 914万1千円

○教育費関係

小学校費理科教育設備整備 227万4千円

中学校費理科教育設備整備 446万円

○災害復旧費関係

道路橋梁河川災害復旧費 250万円
商工施設災害復旧費 250万円

工事請負契約

工事名
橘地区改良住宅D・L棟耐震並びに外壁改修工事
契約金額 7千140万円

工事請負変更契約

工事名
防災行政無線施設（デジタル固定系）整備工事
変更前 4億2千444円
4千150円
変更後 4億3千296万6千450円

工事名
防災行政無線施設（アナログ移動系）整備工事
変更前 4千693万5千円
変更後 6千195万円

条例の一部改正

○国民健康保険条例の一部改正
改正点は、出産に係る被

決算特別委員会を設置

平成20年度決算認定議案が、監査委員の意見書とともに町長から提案され、閉会中に審議することにした。

決算特別委員会の委員は、次のとおりです。

委員長 井上喜代文
副委員長 渡辺 慧
委員 藤本 傳夫
委員 中江 正
委員 新名 教男
委員 秋長 正幸
委員 村上 久美
委員 植松勝太郎

保険者等の経済的負担を軽減し、安心して出産できるように、出産育児一時金等の支給額を、平成21年10月1日から平成23年3月31日までの出産について、4万円引き上げる改正です。

報告事項

地方公共団体の財政状況をチェックするための健全化判断比率及び資金不足比率が議会に報告されました。

(報告内容)
健全化判断比率

健全化判断比率	小豆島町平成 20 年度数値	判 断 基 準	
		早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	- %	14.85 %	20.00 %
②連結実質赤字比率	- %	19.85 %	40.00 %
③実質公債費比率	14.0 %	25.0 %	35.0 %
④将来負担比率	7.1 %	350.0 %	

資金不足比率

会 計 名	平成20年度 数値	経営健全化 基準
水道事業会計	- %	20.0 %
病院事業会計	- %	20.0 %
介護老人保健施設事業会計	- %	20.0 %
簡易水道事業特別会計	- %	20.0 %

いずれの数値も国の定める早期健全化や財政再建の基準、経営健全化基準内の数値となりました。
将来負担比率などは、昨年度の値より改善しており、中期財政計画に沿った取り組みが数値に表れてきています。

一般質問

内海病院の終末医療に不安あり



谷 清 議員

谷議員 内海病院に入院していた患者さんで、食事が摂れずに身体に穴を開けて食物を流し込んでいた人が、他の施設へ申し込めといわれ、転院させられた。

その18日後に急変し、内海病院へ受診の連絡を入れたが内科医がいなくて、途中で断られ、他の病院で診てもらい、その後間もなく息を引き取った。なぜ最後まで置いてもらえなかったのか。
特に老人医療に対しての不安解消のため、分かりやすい答弁を。

答弁 外来の急病患者については、当直医が患者さんの希望する診療科の医師でないなど、来院後のトラブルを避けるため、受診希望の電話があった際に、当直医の診療科目を伝え、患者さんの判断により来院してもらっています。

この説明が十分でなかったことが、内科医がいなくて診察を断ったということにつながったと考えられるので、今後、職員の資質向上に努め、患者さんへの説明を含めて適切に対応するように周知徹底していきます。

また、穴を開けた胃に食物を注入するのは、その家族や医療機関以外でも対応できます。

政権交代による町への影響は



信頼される病院をめざして



浜口 勇 議員

浜口議員 民主党、社民党、国民新党の連立政権の発足が小豆島町へ及ぼす影響について問う。

- ①内海ダム再開発事業
- ②国道436号線橋トネルへの道路改良工事
- ③高潮対策事業
- ④高速道路通行料金無料化による観光客の減少でフェリー業者や観光関連業界への影響

⑤その他の事業や行政運営について

答弁

①事業の必要性は変わるものではなく、本体工事についても、7月10日に一般競争入札の公告、9月10日に開札されました。事業の着実な推進に向け、全力で取り組みます。

②全体工事の進捗率は、今年度事業費ベースで約90%となる見込みで、影響は軽微であると思っています。

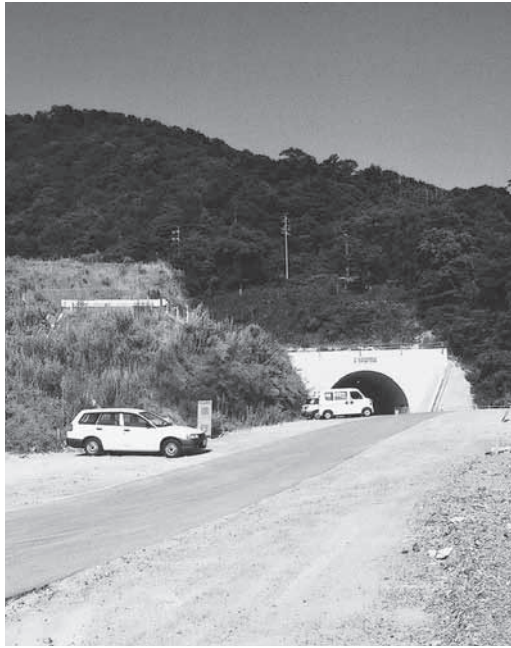
③新政権や関係機関への要望、陳情を粘り強く行い、



森 崇 議員

公共交通の安全性について

森議員 島バスに昭和35年入社の際は日当150円だった。賃金が高かったかのように新聞に載ったが正しくない。家を新築できたのは労金のおかげだ。



トンネル内工事完成間近

④ 事業の推進に努めます。近隣地域からの入込客数は減少すると予想される反面、遠方からの高松・岡山・姫路などの港までは訪れやすくなるとも考えられます。

⑤ 政策の本身や時期、地方交付税の動向なども明確にされていませんが、国政の動向を注視し、積極的な情報収集に努め、迅速かつ的確に対応します。

私達乗務員は納涼バス転落事故やスカイライン琴平高校野球部のマイクロバス転落事故を経験した。今もバス事故は無くなっていない。安全こそ第一である。バス問題が山場だが、観光地としても、どう考えるのか。

答弁 全国的にバス事業者の撤退があります。島バスからの分社化や「住民バス構想」が提案されましたが、協議が進んでいません。安全第一は当然です。地域主体の法律に移行しつつあり、来年4月を目指してあらゆる協議をします。



琴平高校2名が犠牲。銚子溪近くの砂止退避場

各自治会の溝を調査してみても

森議員 危険な溝の放置が目立つ。けが人が出る前に町が調査をしてはどうか。

答弁 溝は側溝、排水路などがあり通水面からは蓋が無い方がよく、交通安全の面からは蓋の効果があります。地元の協力も必要であり、財政面からも町内すべての調査は難しいです。

のびのびした議員活動が必要

森議員 船便・バス便・少子高齢化・学校・病院・職場の確保・庁舎の位置問題など、どれを考えても「のびのびとした議員活動」が

必要と思う。議員図書など準備できないか。

答弁 町行政の「より良い方向性」が肝要であり同感です。

議員図書については財政面のこともあり、要望があれば検討します。

芸術家村構想に関する今後は



森口 久士 議員

県と町が各15万円を助成し、職員ボランティア制度の活用など、可能な範囲で協力します。

散策マップの製作は検討を進め、案内板の修正や新規の設置など支援します。

森口議員 広報面の工夫をすべきでは。「花とアートの三都フェスタ(仮称)」への今後の対応は。

答弁 芸術家村については、行政機関・各種団体との連携、島内への周知、情報発信に努めます。三都地区における新たな事業に対しては、「元気な島作り支援事業」を活用、





地域ぐるみで除虫菊の植栽（谷尻）

地区座談会に 関して

森口議員 どのような検討をしたのか。住民の意見を聞くことができたのか。今後の計画は。

答弁 重要な計画の策定は、パブリックコメントを実施し、各種アンケートなどで意見を聞きました。自治会活動を重視し、住民自治の推進を支援し、意見は自治会を通じて聞いてきました。

自治会から地区座談会などの要望があった場合、できるだけ応じます。

政権交代に 対する考えは

森口議員 予算面に影響が出てくると思うが、どのように対応していくのか。

答弁 平成22年度予算の動向を注視し、県や町村会を通じて情報収集に努めます。

地方財源の確保は、あらゆる機会を通じて、強く国に要望するなど、各般にわたる取り組みを進めます。

内海ダム再開発の進み具合は



中江 正 議員

を配っている噂を聞き、誠に残念です。災害で尊い人命や財産を失ったわけですが、二度とこんなことに出遭わないためにもダム再開発を進めていく決意です。

高潮対策の進捗 状況は

中江議員 内海湾を中心に池田湾でも高潮工事が進められている。

遅きに失した感もあり「また来たらどうする」という声も強い。予算面のこともあると思うが進捗状況は。

答弁 津波・高潮対策アクションプログラムを県とともに進めています。第一期計画では町の対象延長の進捗率は69%です。

市町管理の施設では、小豆島町は1430メートルの整備が完了し、進捗率は41%となっています。

付け替え道路の工事も進み、県道が79%、町道が約100%です。

また島外の人達がチラシ



着々と進む内海ダム再開発工事（町道付替）

総選挙で示された国民の声に 応える町政を



鍋谷真由美 議員

期高齢者医療制度の早期廃止を新政府に要望すべきでは。

答弁 本町では、自民党の得票が民主党を上回っており、言われているものとは少なからず隔たりがあります。時代の変化に留意しつつも、総合計画を行政運営の羅針盤として各種事業に取り組みます。

内海ダム再開発は、事業推進に全力で取り組みます。

後期高齢者医療制度廃止を国に求めるのは、時期尚早と考えます。

窓口負担の軽減を

鍋谷議員 医療機関の窓口での未収金が増えている。公的医療保険制度の原点である誰もが安心してかかる医療保障に再生するため、特に高すぎる国保税の引き下げと、窓口負担の軽減が緊急の課題。国保法44条に基づき一部負担金減免制度の実施を求める。

答弁 一部負担金を減免した場合、その部分を保険税で負担することになり、他の保険加入者に負担となります。慎重に対応すべきであり、他の市町の動向も勘案し検討します。



今日はいくらかかるのかな (内海病院)

学校給食の米飯給食回数増と、「地産地消・産直給食」の推進強化を



村上 久美 議員

村上議員 学校給食を生きた教材として食教育を充実させ、産直給食を実施している全国の新しい給食を学ぶ必要がある。

米を主食とした食生活や、農家の顔が見える地域農業の大切さから、米飯給食の回数を増やし、地産地消・産直給食の推進強化を。

答弁 本町では、米飯給食の回数は、週4回が適当と考えています。内海給食センターでは、今年度中に、月2週で4回実施できるように調整中です。

中学校統合は白紙に

村上議員 住民の母校や地域への愛着は強い。池田中学校の存続を求める立看板が設置され、町長などへの

要望書も提出された。統合ノーの意思は明白であり、白紙にすべき。

答弁 統廃合については、時間をかけ、十分に協議し、保護者や住民の方に理解が得られるよう努めます。地域の方の意見を無視して、統合する考えはありません。

安心・安全な生活環境整備を

村上議員 池田庁舎前から小学校へ行く交差点までの歩道設置と、道路拡幅を。浜条地区の複数路の水が集中するため、その水が抜ける水路の改善を。

答弁 交通安全上の効果を得るのは、全面の整備が必要で、地元関係者の協力が不可欠です。早急な対応は難しいです。

浜条地区は、高潮対策を優先し、浜条川河口へ水門設置工事を今年度実施予定です。

嘱託職員の待遇について



安井 信之 議員

のようなことになるのか。ふるさと村など公社職員との整合性は取れていないと思うが、どのように考えているか。

安井議員 嘱託職員の処遇改善が今までに行われたなら、その報告、効果は。国での取り組みも今まであったように聞いているが、これからの見通しはど

答弁 ホームヘルパーなど訪問介護関連職種には、平成19年度に初任給を見直し、在任職員にも所要の措置を行いました。平成21年度は嘱託ホームヘルパーに一時金の支給を行います。



地元食材のおいしい給食 (内海中学校)

本町が出資する公社などの財団法人の正規職員・臨時職員と、本町の臨時及び嘱託職員では、身分、勤務条件が異なるので、その均衡は考えていません。

瀬戸内国際芸術祭への取り組みは

安井議員 行政・住民がどのような形で関わっていくのか。
豊島問題で学んだことの成果として不法投棄・ゴミ放置に取り組んでいる姿を全国に発信していくべきでは。



瀬戸内国際芸術祭のチラシ

答弁 プロジェクトチームを設置し、中山地区での説明会や公募アーティストの現地見学会、各種の調査、協力を行っています。

中山地区の方には、アーティスト受け入れや農村歌舞伎の実演・指導、ワークショップなどの協力をお願いしたいと考えています。
ゴミ・不法投棄問題は、イベントの趣旨やイメージとマッチしないので、取り上げる活動は控えたいと思います。

離島振興指定に向けて



秋長 正幸 議員

秋長議員 日本国内には、離島と言われる島が6千847島、離島振興指定の島が261島ある。

現行の振興法は、昭和26年に議員立法により制定、以後5回の改正があり、県内では、3地域21の島、5市町が指定を受けている。最近の追加指定は、平成12年に直島諸島地域が受け、選定基準を小豆島と比較すると指定は可能である。高速道路無料化など、昨今の社会変動にどう対応す



小豆島を離島振興指定へ

るのか、離島振興地域指定は、その一端として、ぜひ必要であり、全島あげての運動を展開すべきと思うが。

答弁 小豆島の定期航路は、80便を超えることから、離島振興法の基準を大幅に上回っており、指定の可能性は低いと思われますが、この要件は、必ずしも厳密なものではないことも想像できます。

新型インフルエンザへの対応は



渡辺 慧 議員

保育所・公民館・役場などの公共機関へ消毒器材の設置、マスク・体温計の配備などの対応を進めています。

医療、ワクチンの確保などは県の管轄となっており、インフルエンザウイルス薬の確保、医師会との連携による適正な医療の提供が、行われる手はずとなっています。

渡辺議員 県では、9月に入り2回目の対策本部を開き、流行が拡大した時の行動計画を改定し、治療を適切に行える医療体制などの整備を進めている。
本町での現況と対策は。

答弁 島内では8月14日、17日にそれぞれ集団発生があり、防止するため、学校・

振興法が適用されれば、デメリットはなく、町づくりを進める上で、補助率の嵩上げなど、財政面で多くの有利性がありますので、今後、行政のみならず、産業界をはじめ、官民一体の取り組み、機運の高まりも必要であると考えます。
土庄町とも十分な意思疎通を図りつつ、地域指定に向け、前向きに研究します。

潮干狩りが楽しめる干潟の回復を

渡辺議員 最近、貝掘に行っても貝が採れなくなつた。どうなっているのだからという声をよく聞く。原因はいろいろ考えられると思うが、みんなが楽しめる潮干狩りを何とか回復できないものか。

答弁 激減している原因は、乱獲、水質環境の悪化、ナルトビエイの生息数の増加



家族で潮干狩りを（別当川河口）

やプランクトンの減少など、複合的な要因に起因していると推測されます。

県においても個体数の回復方法として、種苗放流を実施したものの投資効果が現れず、現在は実施していません。

新内海ダム本体着工は



新茶 善昭 議員

新茶議員 安全・安心のダム建設は内海にとつて夢であり、希望である。北原県土木部長は鳩山政権になつてもこれまでの経緯をふまえ、適切に判断されるはず、との話であつた。

8月にも260ミリの豪雨が、はらはらした下流の住民として、計画の行く末に気をもんでいる。町長の見解は。

答弁 新ダム本体建設の予定は、県が7月10日に一般競争入札の公告を行い、開札は9月10日にあり、その後必要な手続きを経て県議会で議決をいただき、本契約を締結し、年度内には本体工事に着手する予定と伺っています。

町としても災害に強く、安全・安心な町づくりを進めるためにも、1日も早い

新内海ダムの供用開始を目指します。

新型インフルエンザワクチンの接種は

新茶議員 新型インフルエンザの流行により本町でもオリーブマラソンが中止となり、全国のランナーにご迷惑をおかけし、また、学校の授業や行事、旅行などの各方面に多大な影響が出ている。

ワクチン接種の開始は、いつ頃になるのか。

答弁 ワクチン接種については、9月4日現在、厚生労働省ホームページで「素案」が示されている段階で、決定事項ではないので、今後、接種に関する詳細が決定したら、早急にお伝えします。



新名 教男 議員

新名議員 今年の8月8日、鹿児島県における2枚の「日の丸」を切り抜いて民主党の党旗を作製した事件が報道されている。

国旗・国家に敬意を表するのは、国際社会の常識である。

我が国にも「国旗及び国歌に関する法律」がある。

国旗、国歌についての指導方針は

学校教育においても文部科学省指導要領の中にも、国旗・国歌についての指導するところ。

町としては、学校教育、社会教育全般において、国旗・国歌をどのようなスタンスで指導しているのか。

答弁 日本人としての自覚を養い、国を愛する心を育てるとともに、国際社会で尊敬され、信頼されるためには、国旗・国歌に対して一層正しい認識を持たせ、尊重する態度を育てることが重要です。

感染を予防するために
こまめな手洗い・うがいを
徹底しましょう

感染をひろげないために
咳エチケットを守ってください

感染をひろげないために
かかったあとは外出自粛を
してください

重症化リスクの高い方は早期受診！

- ・持病のある方々の中には、治療の経過や管理の状況により、インフルエンザに感染すると重症化するリスクが高いと判断される方がいます。（※下欄参照）
- ・予防（こまめな手洗いとうがい、人ごみを避けること）を心がけてください。
- ・また突然の発熱や咳、のどの痛みなどの症状が出たら、早期に受診してください。

※インフルエンザに感染すると重症化するリスクが高いと判断される方
 ◎高齢者 ◎基礎疾患がある方 ◎妊産婦 ◎免疫抑制剤を服用している方
 ◎糖尿病 ◎ステロイド剤を服用している方 ◎がん患者 ◎臓器移植歴 ◎免疫抑制剤を服用している方

本町では、入学式や卒業式、成人式で国旗の掲揚と国歌の斉唱を行っていき、各学校の運動会や各地区で行う運動会で、国旗の掲揚を行っていきます。小・中学校の指導方針に基づき適正な指導に努めています。



青空にはためく国旗（星城小学校）

職員に各種資格取得奨励を



藤本 傳夫 議員

藤本議員 職員に各課に係る資格取得を奨励し、業務執行に役立てるべきだ。資格を取れば基本給に反映させては。

答弁 民間では、資格取得を処遇面に反映することで、

モチベーションを高め、スキルアップを図るという事例も多いようです。本町でも、主に公営企業の分野で、業務に不可欠な資格取得を奨励し、処遇面でも配慮しています。

一般職職員は、自治大学校などでの中央研修、香川県での各種実務研修を実施しています。処遇面への反映は、職種や業務内容によりケースバイケースで判断します。

中山地区を観光の柱に

藤本議員 中山地区は、名水百選、農村歌舞伎、棚田、など色んな要素を持っている。集落の入口には石造りのトンネルもあり、鎌倉室町時代からの伝説もある古い集落である。地域全体を遊歩道で周回できる自然公園に整備しては。

答弁 中山地区は、数多くの地域の資源を有しています。昨年、国交省の「島の宝百選」に千枚田と農村歌舞伎が選ばれ、今年1月「日本の里百選」に森林文化協会より選定されました。今回「中山散策マップ」を作成し、中山の素晴らしさを効果的にPRしていきます。



島の宝百選（中山千枚田）

池田港の再整備について



井上喜代文 議員

井上議員 池田港の整備を、町が県に対して6月17日に要望したが、その後の進捗と対応は。政権が変わった今、一歩前に進むべきでは。

合併前の町民との約束事であり、早期着工を。

答弁 8月に自民党香川県支部連合会・県議会議員会に、平成22年度予算に関する要望をしています。

県は大変厳しい財政状況であり、早期着工は困難です。休憩バス建設と比較し、高潮対策の緊急性が高いとのことですが、しかしながら、今後早期着工に向けて強く要望を続けます。

坂下町長 来期の進退は

井上議員 町長も議員同様で、来年4月が任期となっている。今は醤油サミットや次年度予算などもあり、大変忙しいところだが、来期の進退は。

答弁 合併時の大事な時期を何とかやってきました。融和と財政の基盤づくりの



再整備が望まれる池田港

時期であり、町の総合計画を策定しました。オリーブ百年祭がマスコミに取り上げられ、活性化に寄与できました。内海ダム再開発・高潮対策・全国醤油サミットなど、まだまだ課題が山積しています。引き際が大事であり、残り7ヶ月頑張ります。進退は、近い時期に発表します。

住民の声

「変化への対応」

高本博文（浜条自治会会長総代）



ないかぎり観光客から敬遠され、観光客が激減するだろうと云うことは誰もが思っていることではないかと思ひます。

私達を取り巻く環境変化の中で私自身気になっておりますことは、社会環境の変化の面では、少子高齢化社会の進展と交通格差の問題であります。

特に交通格差の問題につきましては、自民党政権時に景気対策の一環で3月から実施しております土・日・祝日の高速道路利用料金千円の対策、また、民主党政権になり打ち出されております高速道路無料化等は、陸続きの観光地は大歓迎だと思ひますが、離島の小豆島にとっては多少の恩恵はあつても、長い目で見ますと、輸送コストの面で歴然とした差があるわけですから小豆島によほどの魅力が

持たなければいけないと思ひます。

私が子供の頃、60年程前のことになりましたが、よく

波止で夜釣りをしていた頃の満潮時の潮位と、現在の潮位を比べますと、間違いなく30センチ以上は潮位が上がつているように思ひます。このような現象も地球の温暖化が進んでいることと無関係ではないと思ひます。それだけに高潮時の被害から地域住民を守るため、本年度行政にお願いをし、河口部に水門を取り付けて頂くことに致しました。

また、ここ30年〜40年の間に池田の平野部から沼や田んぼがなくなり、大雨の時には保水機能や貯水機能が低下しているため、海岸部の浜条地区ではいつも水害の危機にさらされています。排水路の確保も、地区としての喫緊の課題だと思ひております。

また、私達を取り巻く自然環境の面では、鳩山首相が地球温暖化防止の為にCO₂削減目標25%を全世界に向けて宣言しましたように、知らない内に自然環境が破壊されていることにも関心を

持たなければいけないと思ひます。私が子供の頃、60年程前のことになりましたが、よく波止で夜釣りをしていた頃の満潮時の潮位と、現在の潮位を比べますと、間違いなく30センチ以上は潮位が上がつているように思ひます。このような現象も地球の温暖化が進んでいることと無関係ではないと思ひます。それだけに高潮時の被害から地域住民を守るため、本年度行政にお願いをし、河口部に水門を取り付けて頂くことに致しました。

町の力

「池田ファイターズ」

池田ファイターズは、今年の9月に7名の6年生からバトンを引き継ぎ、現在2年生から5年生の13名で活動している少年野球チームです。いつの日か、みんなで力を合わせ優勝するという夢と希望を持ち、日々練習を頑張っています。

練習は週4回、池田小学校の運動場で行い、休日は練習試合を交えたりしています。とはいえ、学校生活もおそろそかにせず、特に宿題を完璧にこなすことをモットーに活動しています。

春の郡大会では、惜しくも金メダルは逃したものの銀メダルを獲得することができました。新チームでは金メダルを獲りたい！という夢に向かって、その信念を胸に一生懸命頑張っている子供達です。

チームの歴史は古く、昭和50年に創設され、かつて選手だった方々が今では監督や指導に携わってくださ



編集後記

毎回、原稿の校正をする度に思う事。

この質問は、本人がどの部分を強く主張したいのか。答弁は、質問とかみ合っているのか。再質問やその答弁をどこまで書けるのか。広報委員以外の議員全員の担当をやらせてもらいましたが、十人十色でした。

今夏、政治の世界では地殻変動が起きました。政権が変わり、本町への影響も予想がつかない事があるかもしれません。

各党のマニフェストは、本当に国民の願いを、くみ上げたものだったのか。一方的なことを言いつのり、人気取りとしか思えないような言動もありました。現実を見すえた地に足のついた議論があったのでしょうか。風にも東西南北、いろんな風があります。風に左右されない意識を持ちたいものです。

藤本 傳夫 記